

令和7年2月定例会会議録

(令和7年2月21日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会定例会会議録

- 【開催日】 令和7年2月21日（金）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長
渡 邊 裕 一 教育委員
早 田 蛭 教育委員
澤 村 互 寛 教育委員
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長
下 津 恵 美 教育部次長
松 本 康 祐 教育部次長
松 本 豊 教育政策課長
加 賀 真 一 学校教育課長
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長
泉 宣 孝 生涯学習課長
高 嶋 宏 幸 教育サポートセンター所長
山 崎 撰 博物館未来の森ミュージアム副館長補佐兼学芸係長
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長
井 戸 康 雄 学校教育課長補佐
盛 高 麻衣子 教育施設課長補佐兼建築係長
園 川 純 大 学校教育課主幹兼教育支援係長
永 野 祐 樹 学校教育課指導主事
- 【事務局】 萩 本 誠 子 教育政策課教育政策係長
浦 本 美代子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <議案案件>
- ① 八市教委議第4号 八代市外国語指導助手の任用に関する規則の一部改正について
 - ② 八市教委議第5号 八代市自治公民館再建支援事業補助金交付要綱の廃止について
 - ③ 八市教委議第6号 八代市就学援助要綱の一部改正について
- <協議案件>
- ① 協議第2号 令和8年度開園八代市立幼稚園の園名について（案）
 - ② 協議第3号 「学校における働き方改革アクションプラン

(第2期)(案)」について

③ 協議第4号 八代市学校施設等整備保全計画の一部改定について

<報告案件>

① 報告第2号 令和6年度熊本県及び八代市学力・学習状況調査の結果について

1. 開会 (午後3時05分開会)

2. 会議録の承認 令和6年12月定例会

3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

中教育長 報告第2号 令和6年度熊本県及び八代市学力・学習状況調査については、適切な審議環境を確保するため、秘密会にすることを提案する。

教育委員 全員異議なし

中教育長 報告第2号 令和6年度熊本県及び八代市学力・学習状況調査については、八代市教育委員会会議規則第5条に基づき秘密会とする。

中教育長 本日の議事の進め方について、議案案件の3件を審議後、協議案件の3件について協議を行う。その後、議事を一旦中断し、各課かい及び事務局からの連絡事項に移る。そして、議事に戻り、秘密会と決した報告第2号 令和6年度熊本県及び八代市学力・学習状況調査の結果について報告を行いたい。

<八市教委議第4号> 八代市外国語指導助手の任用に関する規則の一部改正について

加賀学校教育課長 外国語指導助手の報酬額について、総務省、外務省、文部科学省より報酬額の見直しを行うよう通知された。JETプログラムでは、全国的に円滑な斡旋を行うために、報酬等を統一的に設定する必要があることから、報酬額を見直し、任用に関する規則を改正するもの。

質問等なし

【八市教委議第4号 承認】

＜八市教委議第5号＞ 八代市自治公民館再建支援事業補助金交付要綱の廃止について

泉生涯学習課長 平成28年熊本地震から8年以上が経過し、当該交付要綱の補助金に関する相談等もなく、交付事務が発生する見込みがないことから、本補助金要綱を廃止するもの。

早田教育委員 再建支援事業についての周知はどのようにされていたか。また、他市町村の状況を伺いたい。

泉生涯学習課長 周知については、避難所や市ホームページで周知をした。他市町村の状況は、本市と同様であると認識をしている。

田中教育部長 この後の令和2年7月豪雨災害においても同様の補助金要綱がある。熊本地震から相当な時間が経過しており、市内の各自治公民館については復旧が進んだと考えられる。生涯学習課では、自治公民館の通常の建て替えや修繕について、別の補助申請があるが、それについても申請がないことから、熊本地震の被災による申請はないものと判断した。また、新年度より、自治公民館の事務については、生涯学習課から住民自治を担当する市民活動政策課に所管を移したいと考えている。窓口を一本化するためであるが、市民の方々からすると、自治公民館はコミュニティセンターという思いが強い。また、地区のお祭りごと等の補助申請も市民活動政策課で行っているため、住民自治に関することの窓口の一本化を考えたとき、これまでの補助金要綱を整理させていただいたという思いもある。当然、熊本地震は広域であったので、他の自治体でも同様の取組があったと思う。被害の大きかった益城町も同様であると思う。今般、豪雨災害で建設した「みんなの家」は、益城町でも数件建設されている。他の自治体も似通った補助事業を行っていると考えられる。このような経緯で廃止に至った。

早田教育委員 熊本地震から時間は経過しているが、気付いていないところがあれば補助金で対応する必要があるので、しっかり周知されているのか確認したかった。また、他の市町村でも動きがあれば、八代市も同様の動きになるのではないかと思った。

田中教育部長 各町内の自治公民館の修繕については、現行の制度もあり、申請があった場合に熊本地震で被災したものであるということであれば、この補助金の方が補助率が高いので案内する。毎年、各町内に照会しているが申請がないため、総合的に判断し、一段落したと考えられ廃止に至った。

【八市教委議第5号 承認】

<八市教委議第6号> 八代市就学援助要綱の一部改正について

加賀学校教育課長 令和6年4月に県立ゆうあい中学校が開校したことに伴い、夜間中学校に就学している者及び予定している者又はその保護者を就学援助の対象として定めるもの。

丸山教育委員 県立ゆうあい中学校はすでに開校しているが、本市にお住まいの方で、県立ゆうあい中学校に通学している方は何人いらっしゃるのだろうか。

園川学校教育課主幹兼教育支援係長 本市にお住まいの方で、県立ゆうあい中学校に通学している方は1名である。仕事をされており所得があるため、就学援助の対象になっていない。

丸山教育委員 対象の方がいらっしゃった場合、遡及されるのだろうかと思ったところだった。今まで県立八代中学校は対象ではなかったのだろうか。

園川学校教育課主幹兼教育支援係長 県立八代中学校、市外にある県立宇土中学校は、現在も対象にしている。援助の種類が要綱とずれがあったため、現状に合うように改正したところである。

【八市教委議第6号 承認】

<協議第2号> 令和8年度開園八代市立幼稚園の園名について（案）

加賀学校教育課長 市立幼稚園の園名については、昨年12月から1月10日までの約1カ月間、公募を行ったところ、市民、園児、小・中学生、保護者等から126件、187つの応募があり、学校教育課で候補を絞った。資料により説明

澤村教育委員 一覧表を見たとき、最後に残っている5つの候補がよいと思ったところであった。説明にあった「にじいろ幼稚園バス」というおもちゃがあるのか。

児嶋学校教育課審
議員 渡邊委員から情報提供をいただいた。シルバニアファミリーに「もりのようちえん」という幼稚園があり、その幼稚園バスが「にじいろようちえんバス」といって、玩具がある。

澤村教育委員 シルバニアファミリーは有名なおもちゃであるが、著作権の問題がなければよいと思う。

丸山教育委員 5つに絞られた中から2つになるが、2園の園名の文字数は合わせたほうがよいのではないかと思う。選択肢として、4文字が3つ、3文字が2つで、3文字が1つ少ない。選択肢の数を合わせたほうが選択の余地があるのではないかと思った。

加賀学校教育課長 文字数を合わせるということは想定していなかった。あまり長かったり、短かったりすると分かりにくいので、3～4文字の範囲で絞ったところだった。また、言いやすいのではないかと思う。

丸山教育委員 最終的には子供たちの意見が採用されるので、この候補の中から選ぶことは理解した。

早田教育委員 前向きできらきらとするイメージで、どの候補も素晴らしい名前だと思う。全てイメージが似ているので、2園になったとき、どっちの園だったかなと戸惑うことがあるかもしれない。個人的には八代らしさがほしいと思ったが、子供たちがきらきら輝く市立幼稚園になるようなすてきな名前を付けてほしいと思う。

渡邊教育委員 こんなにたくさんの応募があったことを嬉しく思う。市民の皆さんによく考えていただき、感謝の気持ちでいっぱいである。

文字数については現在の園名が4音が多いので、4音に慣れ親しんでいるのではないかと思う。また、現在の各幼稚園の園歌の歌詞は見られたらどうか。代々、何十年も歌われてきた歌詞の中には、素晴らしい言葉がたくさんあるので、参考にされるとよいと思う。6園合わせると共通した言葉が生まれるのではないかと思う。候補にあがっている言葉もあるのではないだ

ろうか。最終的に順位を決定されるときは、ぜひ先生方の意見も大切にしてほしいと願っている。

中教育長 今後の進め方はどのようになるだろうか。

加賀学校教育課長 この案を6園に提案し、2つに絞ることになる。どちらの園名にするのかまでは決まっていない。

中教育長 基本、子供たちの意見が多かったものを採用するのだろうか。

加賀学校教育課長 子供たちの意見をベースに考えている。

中教育長 子供たちは未就学児であるため、先生の伝え方も大事なところだと思う。文字が読めない子供もたくさんいると思う。公平・公正に選ばれたと言えるように進めていただきたい。

丸山教育委員 仮に「にじいろ幼稚園」が選ばれても、問題はないのだろうか。

中教育長 特に問題はない。

<協議第3号> 「学校における働き方改革アクションプラン（第2期）（案）」について

加賀学校教育課長 平成31年4月、本市教育委員会において策定した「学校における働き方改革アクションプラン」が、令和5年3月に実施期間が終了した。さらに、「熊本県の公立学校における働き方改革推進プラン（第2期）」が令和6年11月に改定、公表されたことから、本市においてもアクションプランを改定し、「学校における働き方改革アクションプラン（第2期）（案）」を策定した。資料により説明

早田教育委員 第1期から大きく変わった点を教えてほしい。

加賀学校教育課長 市教委が取り組む内容及び学校が取り組む内容について、新規に追加された項目を資料により説明。

渡邊教育委員 在校等時間に関する指標について、1期目の指標は、勤務時間外在校等時間が月45時間以上の教職員の割合としてある

が、2期目は県と合わせて「45時間以内」としてある。逆転の発想でされているのかと思うが、個人的にはそのほうがよいと思う。令和10年度の目標値が85.0%とあるが、これはどのようにして出された数値だろうか。

井戸学校教育課長補佐 県の推進プランにおいて、市町村立学校の目標値が85.0%となっている。これに合わせたものである。

渡邊教育委員 指標3、一年間を振り返って、教材研究や授業準備、児童生徒等に接する時間が確保できた教職員の割合の80.0%も県に倣った数値であるか。

加賀学校教育課長 指標3については、県の指標にはないものだと認識している。本市の第1期プランでも取り組んでおり、働き方改革を進めるうえで大事な部分であると考え項目を残した。年間を振り返って改善、推進できたかを把握したい。

渡邊教育委員 一年間を振り返って、教材研究や授業準備、児童生徒等に接する時間が確保できたか、という問いになると思うが、受け止める先生方によって、たくさん確保できたという人と、少ししか確保できなかった人とばらつきがしやすい指標項目だと思うがよろしいか。

加賀学校教育課長 業務の平準化を進めていきたいということから、多くの職員がたくさん確保できたと感じることができるよう設定したものである。

井戸学校教育課長補佐 アンケートの選択肢を、「取れた」、「どちらかというが取れた」、「取れていない」、「どちらかというが取れていない」というように、アンケートの調査方法で工夫したいと考えている。

中教育長 個人の感覚によるものなので難しいところではあるが、アンケートの取り方等を工夫して、適正な評価となるようお願いしたい。

澤村教育委員 学校が取り組む内容の、教職員等の意識改革で「働きやすさ」と「働きがい」の両立（働きがい改革）とあり、時間短縮や仕事を減らすなどの「業務効率化」だけでなく、「やりがい」をもって仕事に取り組める状態をつくるとあるが、これはとても重要なことであると思う。業務効率化については、校務支援シス

テムや、支援員の増員などで進んできていると思うが、それがやりがいに繋がるようになればよいと思う。今は教員のなり手が非常に少ないということで、大問題であり、教育の大きな危機だと思う。教員になりたいと思っている若い人は結構いると思う。人の成長に携わることができる仕事であり、とてもやりがいのある仕事である。それを求めている人はいると思うが、あまりにも仕事量が多い、勤務時間が長い、どこまでが仕事がよく分からないというような状態があり、足踏みしている人も多いのではないかと思う。今後、具体的に働きがい改革をどうするかを検討されると思うが、少しでもやりがいがある、教職っていいなと思えるような職場に変えていただきたいと思う。

田中教育部長

通常は4年サイクルで策定するものであるが、今回だけは5年としている。県と足並みを合わせていたが、今回、県の策定が11月まで遅れてしまったため、空白の期間ができてしまった。空白の期間があるのは好ましくないため、敢えて時期をずらして今回は5年とした。今後は4年とするが、不規則になったことをご了承いただきたい。

中教育長

学校が取り組む内容の(1)業務改善の推進について、担任制の導入の検討及び推進とあるが、担任制とは教科担任のことであるか。

加賀学校教育課長

教科担任制もあるが、担任を決めずにローテーションにすることを国で推進していることもあり、学校の状況にもよるが、検討できればということで担任制としている。いろいろな担任制があることからの表記である。

井戸学校教育課長
補佐

学年担任制を進めている自治体がある。固定された学級担任ではなく、学年の先生方で学級担任をそれぞれ分担する、固定ではなく、例えば1月ごとに担任を変えるというような取組をされている自治体がある。それを含めて、担任制の導入としている。

中教育長

導入という表記でよいか。何をすればいいのか、見た人が分かるような表記がよい。

井戸学校教育課長
補佐

検討したい。

丸山教育委員 市教委が取り組む内容に、新規で学校徴収金の徴収・管理業務の標準化・効率化の検討とあるが、令和10年度までの間に検討で終わるのか、今後の見込みはどうなっているか。

松本教育政策課長 働き方改革の一つであるが、給食費の公会計化について早期の実現に向け進めている。給食費だけを公会計化しても、他の徴収金をどうにかしなければ、学校徴収金の徴収業務が学校現場に残ってしまうので、同時に並行して学校徴収金もシステム化し、口座振替等ができないか検討している。学校徴収金は学校ごとに違うため、給食費の公会計化と同時にを行うのは難しい。まずは給食費の公会計化を導入し、その後同じシステムで学校徴収金の徴収が行えるようにしたいと考えている。

丸山教育委員 すでに準備され、導入をある程度具体化できるように聞こえたので、検討ではなく、もう少し前向きな表記にしてはどうか。県のほうはもっと具体的に記載されていた。八代市も導入することが分かるような表記にしてはどうか。

松本教育政策課長 9月市議会で給食費の公会計化と学校徴収金についての質問があり、回答をしている。公会計化については、早期にという答えをしているが、学校徴収金については明言を避けたことから、このような表記とした。導入の方向で検討しているのは事実である。

田中教育部長 学校徴収金については、業務委託という方法もある。市がするのか、業務委託とするのか、方法について調査研究したい。

中教育長 今後、学校にはどのようなスケジュールで周知を行うのか。

加賀学校教育課長 来年度から進めるので、3月中に学校に示したいが、完成したものを教育委員会に諮る必要があるのではないかと考えている。

中教育長 本日、いただいたご意見をもとに修正を加えたものを、教育委員の方々にお知らせするという形でよいと思う。

加賀学校教育課長 そのように進めていく。

<協議第4号> 八代市学校施設等整備保全計画の一部改定について

稲本教育部理事兼
教育施設課長 令和元年度に策定した八代市学校施設等整備保全計画について、一部改定を予定している。今後、その内容について市のホームページで公表する予定としている。

盛高教育施設課長
補佐兼建築係長 本計画は策定から5年が経過し、その間、関係法の改正等があったことから、一部改定を行うものである。
改定内容の概要について、資料により説明。

渡邊教育委員 これについては、大変重要な課題であり、慎重かつ迅速に進めていく必要があると思うが、気になった表現があるので検討をお願いしたい。第2章の2の(2)子どもの数の変遷のなかに、「新たな統合」という表記がある。今の考え方は「再編」ではないか。また、第4章の2の(2)縮充手法の検討のなかに、「今後、策定される予定の第2次計画に基づき」とある。令和元年度当時はこの表記で良かったと思うが、今は『八代市立学校規模適正化基本計画』の第2次計画が策定される予定はないのではないかと。再編計画はあるかもしれない。また、「小中一貫校整備が可能かどうかについても検討」とあるが、学校再編の計画は出ていないので、表記してよいのかも含めて気になった。これらについては、より慎重に修正が必要だと思う。

質問であるが、「長寿命化型」のイメージがないのだが、具体的にはどのようなことか。

稲本教育部理事兼
教育施設課長 ご指摘のあった言葉の表記については修正したい。
長寿命化について説明したい。大規模改造と長寿命化があり、文部科学省からは20年目に大規模改造、40年目に長寿命化、60年目に大規模改造を行うことが示されている。大規模改造とは、外部・内部のリフォームと考えていただきたい。長寿命化とは柱や梁などの構造体を補強し、多様な学習形態への対応のため等の改修である。熊本市等では、長寿命化改修を行っている。本市で長寿命化を行った学校は、直近では泉中学校である。耐震のときに、構造体まで少し触ったが全面的な改修はしていない。

中教育長 どちらが大規模かということ、長寿命化のほうが大きく改修するということか。

稲本教育部理事兼
教育施設課長 そういうことである。長寿命化は、大々的に壁もほとんどはずして改修するもので、大規模改造は、床、天井をはがして、壁は内装材をはがして改修するものである。

早田教育委員

子供たちの教育をより良く確保するためには、建物は重要であると思う。県外、市外の学校を訪問することも多く、入った瞬間、すてきな学校だなと思うことがある。光がたくさん入って、子供たちの声がたくさん聞こえるような建物がある。子供たちが生き生きと生活するうえで、建物は重要なものであると思う。八代の子供たちもとても元気で、和気あいあいとしていると感じるが、建物が古いと感じる。子供たちの教育の基礎となる部分にしっかり取り組んでいただきたい。子供たちのことをしっかり考えて計画を策定していただきたい。資料を読むと、財政的に、合理化、効率化というような文言がたくさんあり、市民として見ていると、こんなに大きな市庁舎が建ち、次はアリーナを建設予定であるのに、学校施設の予算は縮小されるのかと思ってしまう。未来を担う子供たちのために、学校を含め、予算を確保していただきたいと思う。また、東陽町、泉町、坂本町、日奈久、二見のように子供が少なくなっている地域の学校が縮小されるのではないかと懸念している。学校の適正化という基準を考えると、それを満たしていない学校は統廃合し、効率化し、予算を削減する必要があるのは理解できるが、適正化の基準が本当に適正なのかということを疑問に思う。学校訪問をすると、先ほどの「学校における働き方改革アクションプラン」の目標にもあったが、教職員が子供と向き合う時間を確保して、子供一人一人に対するきめ細かな対応と質の高い教育を提供していると感じるのは、小規模校である。先生たちに余裕があり、しっかり子供たち一人一人と向き合っていると感じる。これは八代市だけではなく、他市町村でも同様である。一方、大規模校では、先生たちは忙しく動き回っておられ、講座に行っても、講座前も講座後も先生とお話しできないような慌ただしさである。そういったところで先生方は無理をされているのではないかと感じる。過疎化の地域で学校がなくなると、子供がいなくなるというのは、地元で20年前に自分でも感じていたことである。過疎化の地域での学校の存在はとても大きいので、先生方の働き方も含め、よりよく子供たちと先生たちが過ごせる場を作っていただきたいと思う。

丸山教育委員

「ゼロカーボンやつしろ」の推進という新しい項目があるが、学校施設の整備という観点から見たとき、具体的にどのようなことを行うのか、この表現では分からない。

稲本教育部理事兼

具体的には記載していないが、照明のLED化、太陽光発電

教育施設課長 などである。具体的な取組については記載していない状況である。

丸山教育委員 明記しないほうがよいということか。LED化や太陽光発電などは大事であると思うが。

稲本教育部理事兼
教育施設課長 検討したい。

澤村教育委員 根本的には、教育に費やす国の予算が先進国の中でも最低レベルと言われているので、予算が確保されると少しは改善される部分があるのではないかと思う。現実的には、施設の老朽化が進んでいる状態なので、今後突発的な不具合等が出てくると思われ、どのように効率化していくかは難しいと思った。その中で、学校施設のバリアフリー化については、八代市は遅れていると思った。障がいのある児童、生徒もいるし、災害等では地域住民の方も利用される施設であるので、バリアフリー化は優先的に取り組むべきことであると思った。

田中教育部長 この計画は子供ファーストで考えるべきであるが、教育施設課としては、建物の維持を考えてしまう。維持するためには、年間34億円ほどの予算が必要であるが、現在は17億円ほどしか費やされていない。倍以上のコストがかかる。ほとんどの施設が40年から50年経過しているが、20年ごとの大規模改修や長寿命化ができていない。今後は改築を行い、改築後は大規模改修や長寿命化を行っていききたい。これが、一番コストがかからない方法である。バリアフリーの最たるものがエレベーターであるが、60年ほど経過している建物に1億円近くかけてエレベーターを設置したところで、果たして何年使用できるか。もともとの躯体が保てない状況で、LEDにしても然りである。外壁の落下については、早急に対応しなければならない。トイレの洋式化は来年度終了する。学校が1校建設できるくらいの規模であった。令和7年度の予算では、小・中学校の危険度の判定を行っていききたいと考えている。学校再編も考えながら、施設の効率化を図っていききたい。

中教育長 現在の施設が、時代のニーズに合った形に変わっていないので、いろいろな側面からアプローチしていかないと対応できない状況になっている。子供たちに良い環境を与えていきたい。

早田教育委員 グラフが見づらい部分があるので、可能な範囲で構わないの

で、小さい部分がもう少し見えるとよいかと思う。

(議事一時中断)

5. 連絡事項
- | | |
|-------------|--|
| 学校教育課 | 卒業式(中学校 3/7、支援学校 3/13、幼稚園 3/21、小学校 3/24)
教職員の業績評価期末面談について |
| 生涯学習課 | 若鳩子ども会閉級式 (3/12)
第2回社会教育委員会議 (3/18)
八代市公民館運営審議会 (3/19) |
| 教育サポートセンター | 教育論文等表彰式 (3/10)
くま川教室閉級式 (3/17) |
| 博物館 | 改修工事の進捗状況について
お出かけ公民館講座 (3/20)
ホームページのリニューアルについて |
| 未来の学校づくり推進室 | 第5回再編等審議会 (2/25) |
| 事務局 | 3月定例会日程確認 (3/25 14:00~) |

〈休憩〉

(議事再開) 午後4時55分

〈秘密会〉

〈報告第2号〉 令和6年度熊本県及び八代市学力・学習状況調査の結果について

〈秘密会につき、会議内容は省略〉

6. 会議録署名委員の指名 渡邊委員・澤村委員

7. 閉会 (午後5時16分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
